



東 侯 野 10月号

東侯野小学校 学校だより

令和4年9月30日

〇〇の秋

副校長 中山 純子

暑かった夏に比べて、いくぶん過ごしやすく、涼しく感じる日も増えてきました。この季節は、物事に集中して取り組むことに適した季節で、「〇〇の秋」と言われるものがたくさんあります。食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋・・・思いつくだけでもさまざまな秋の取組があります。その中のいくつかを紹介したいと思います。

まずは、「読書の秋」。唐の時代、韓愈（かんゆ）という詩人の「灯火（とうか）親しむべし」という言葉が由来になっていると言われていています。この詩には、「夜が長く涼しい秋は、静かに読書するにはぴったりの季節である。」という意味があります。読書は、視野を広げ、想像力を養うことができます。夏に比べると長い秋の夜、たまにはゲームやスマホから離れて静かに読書するのもいいかもしれませんね。

次に、「食欲の秋」。秋は新米が出回り、多くの野菜や果物が収穫の時期をむかえます。また、魚介類も脂が乗り、おいしい季節となります。昔は、今とは違ってどの季節でも野菜や果物があるわけではなく、収穫した野菜はその時期のうちに食べる習慣がありました。その中で、秋は多くの食材が収穫できる季節でもあったので「食欲の秋」と言われるようになったとされています。秋は、旬のおいしいものを食べる機会も増えると思います。きのこや秋刀魚など「秋ならではの食」も楽しみたいものです。

最後に「スポーツの秋」。秋は、暑すぎず、寒すぎず、スポーツをするのに最適な季節であること、さらに1964年10月に東京オリンピックが開催されたことをきっかけに「スポーツの秋」と言われるようになったそうです。コロナ禍において、なかなか思う存分身体を動かす機会が減ってきている子も多いと思います。しかし、身体を動かすことは心身の成長にとっても大切なことです。10月22日の土曜日には、東侯野小学校でもスポーツフェスティバルが行われます。みんなで一丸となって、競技や演技に取り組んでほしいと思います。

さまざまな「〇〇の秋」。一人ひとりが自分に合った「秋」を見つけ、深まる季節を味わいながら、充実した日々を過ごしてほしいと思います。